

化学業界 環境・品質管理・研究開発部門の方必見！

規制強化のなか化学業界の勝ち残りをかける **先着50名**

第1回オポチュニット環境ソリューションセミナー

年々、複雑化、高度化する化学物質規制に関する他では聴けない情報を満載！

2006年2月に、国連で「国際的な化学物質に関する戦略的なアプローチ:SAICM」が採択されましたが、これに基づき各国は様々な対策を取っています。特にわが国では2006年12月よりGHSを導入し、またEUではWEEE、RoHS、REACHなど新しい法規制を実施しております。そのような状況の下、今回のセミナーは、国内外を取り巻く各種関連法規の把握、化学物質のリスク管理手法など、今後の国際的な企業の競争力強化、継続的な企業活動に欠かせない内容となっています。

【日時】2007年10月11日(木)13:30～16:30 (受付開始13:00)

【場所】イベントスペースEBIS303 402会議室

東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビスバルビル4F TEL.03-5420-4371

JR恵比寿駅東口より徒歩3分

【対象】限定50名 **化学業界 環境・品質管理・研究開発部門の方限定です。**

先着順で定員になり次第締め切らせて頂きます。

【参加料】お一人様26,250円(テキスト代・税込み、事前振込制、お振込手数料はご負担願います。)

【プログラム】

「総合化学物質管理における今後の国際規制対応に向けたリスクコミュニケーション」

セッション1:化学物質管理の国内外の動向

1. 化学物質管理規制の国内外動向と押さえておきたいポイント
 - 1)アジェンダ21から始まる国際的化學物質管理
 - 2)WEEE、RoHS指令への対応
 - 3)中国版RoHS
 - 4)我が国のJ-MOSS
2. GHSとは
3. REACHとは
4. JAMPの活動

セッション2:化学物質のリスク管理

1. 化学物質管理
 - 1)ハザードアセスメント
 - 2)リスクアセスメント
 - 3)リスクマネジメント
 - 4)リスクコミュニケーションとファシリテーション
- 質疑応答



講師:株式会社環境情報コミュニケーションズ 代表取締役社長 大歳 幸男 氏

(プロフィール)1949年生まれ。74年横浜国立大学大学院工学系修士課程修了。同年旭硝子(株)中央研究所入社。フッ素系化合物や代替フロンの開発を担当する。96年(社)日本化学工業協会へ出向し、我が国へのPRTR導入のための業務を担当したほか、日本化学会のリスクコミュニケーション手法検討委員会の委員として事業者のためのリスクコミュニケーションについて研究。2000年に旭硝子(株)に復職後、02年退社して(社)環境情報科学センター特別研究員となる。03年には企業の環境経営をサポートする(株)環境情報コミュニケーションズ(ENIC)を設立し、代表取締役に就任。主な著書には『事業者のためのリスクコミュニケーション・ハンドブック』、『化学物質情報の正しい読み方』、『化学物質等法規制便覧』などがある。

【お申込欄】お申込みお一人様につき、お申込書1枚FAXをお願いいたします。折り返しご請求書をお送りいたします。

貴社名			
貴社ご住所	〒 -		
お名前		部署名	
お役職		eメール	
お電話		FAX	

お申し込みは今すぐ。お申込欄に記入しFAXするだけ。

FAX 03-5795-4352

ご記入頂きましたお客様の情報については、セミナー等当社が有益と思われる当社の情報等のご案内のために利用させて頂くことがありますが、それ以外に使用することはありません。

【お問い合わせ】株式会社オポチュニット 東京都渋谷区広尾5-23-5 長谷部第1ビル501号 <http://www.opportunit.co.jp>
電話 03-3441-7553 FAX 03-5795-4352 セミナー事務局 e-mail: info@oportunit.co.jp